

Market Report

2024年9月号



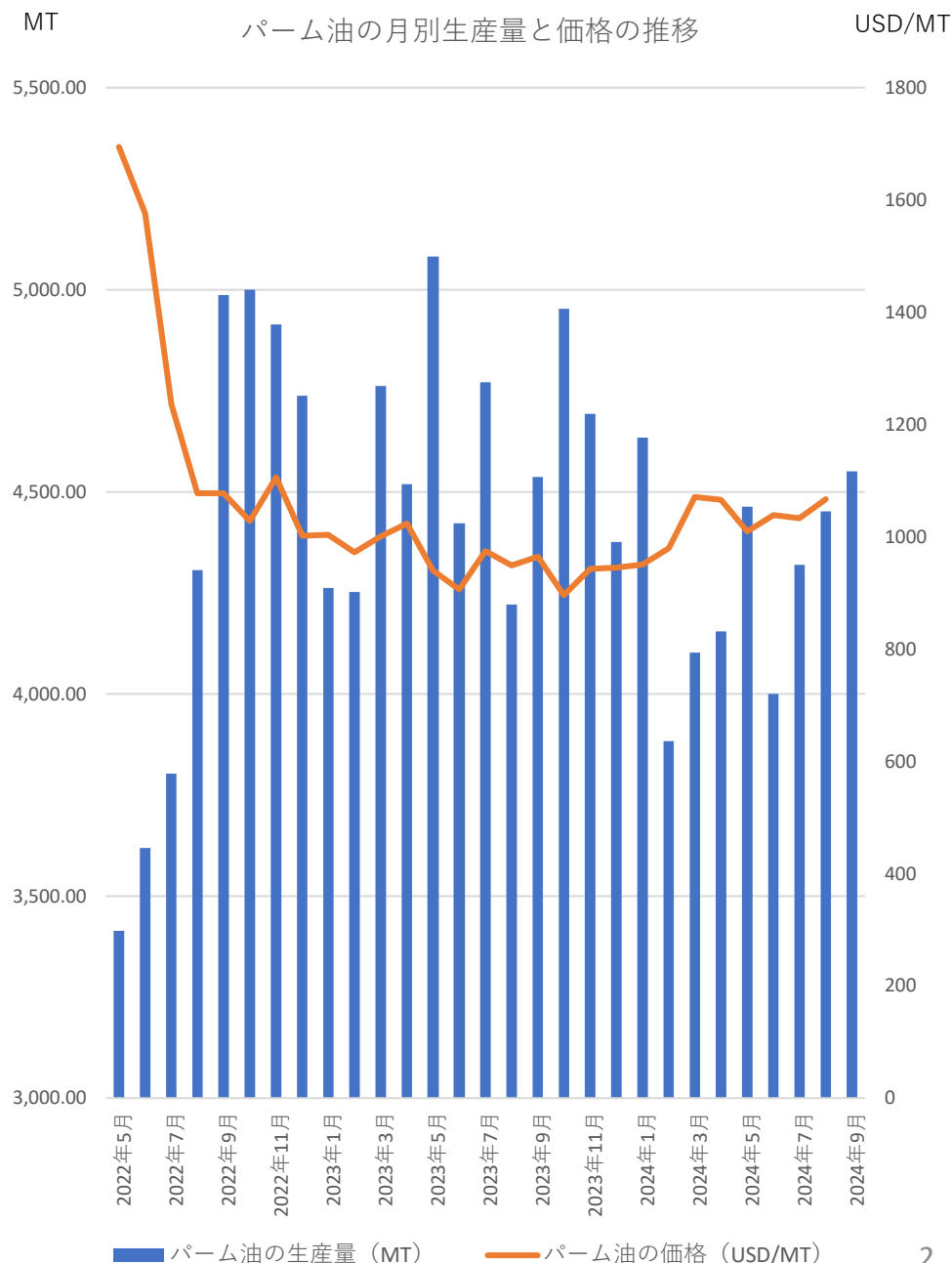
インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

1. 実績

2024年8月のインドネシア国内のFFBの最高価格は、西スマトラ州で3,110Rp/kg、最低価格は中央スラウェシ州で、2,300Rp/kgであった。
CPOの平均価格は2024年8月の12,958 Rp/kgと比較して2024年7月は12,904Rp/kgとなり、54 Rp/kg（前月比で約0.4%）上昇した。また02023年8月のCPO平均価格11,004 Rp/kgと比較すると、1,953 Rp/kg（前年比で約17%）上昇した。

2. 見通し

次期大統領のプラボウォ氏の取り組みもうとしているバイオディーゼルのB50を来年までに実装する目標が国内のCPO需要を高める可能性がある。このためFFB、CPOの価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年7月のインドネシアのPKS輸出量は、350,062トンとなり、6月の輸出量342,973トンと比較すると7,088トン（前月比で約2%）の増加となった。

前年2023年7月のPKS輸出量492,933トンと比較すると、2024年7月の輸出量は142,871トン（前年比で約29%）減少した。2024年7月のPKS輸出額はUSD41,070,416を記録した。

2024年7月最大の輸出先は日本であり、輸出量は318,373トン、外貨換算額は38,176,429 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約90%を占める）日本への輸出量が6月の輸出量324,424トンと比較すると6,051トン（前月比で約2%）の減少となった。

2. 見通し

これから雨期へと入っていくと予想されるため、9月のFFBとCPOの生産量が減少すると推定される。その結果、引き続きPKSの市場価格が上昇する可能性がある。

